

インターネットガバナンス・タスクフォース
2006 年度定期総会議事録

1. 日時：2006 年 4 月 26 日(水)13:00 - 14:00
2. 場所：東京都千代田区内神田 2-3-4 国際興業神田ビル 6 階 JPNIC 会議室
3. 出席者：
会員：公文俊平（多摩大学教授 / 電話会議で参加） 丸山直昌（日本ネットワークインフォメーションセンター） 樋口貴章（インターネット協会） 遠藤淳（日本レジストリサービス） 立石聡明（日本インターネットプロバイダー協会）
幹事：坪田知己（慶應大学 / 日経デジタルコア） 前村昌紀（APNIC 議長） 会津泉（ハイパーネットワーク社会研究所）
オブザーバー：木村裕明（総務省データ通信課） 糸将之（同）
傍聴者：成田伸一（日本ネットワークインフォメーションセンター事務局長） 穂坂俊之（日本ネットワークインフォメーションセンターインターネット政策部）

4. 配布資料：

議案綴

- 第 1 号議案 2005 年度事業報告書
- 第 2 号議案 2005 年度収支決算書
- 第 5 号議案 2006 年度事業計画案
- 第 6 号議案 2006 年度収支予算案

審議事項及び議決事項、並びに議事の経過の概要及びその結果

1. 開会

会津事務局長が出席者の確認を行い、正会員総数 4 名の内、代理人を含めて 4 名の出席があり、総会が有効に成立したことを報告した。続いて公文会長が開会のあいさつを行った。

その後、公文会長が議長になり、議事を開始した。

丸山代表幹事より本日の議事録の署名人として前村氏に依頼したい旨の提案があり、全員が賛同し、前村氏がこれを了承した。

5-1 審議事項：

第 1 号議案「平成 2005 年度事業報告について」

第 2 号議案「平成 16 年度収支決算について」

公文会長が、第 1 号議案および第 2 号議案は相互に関連があるので、一括して審議することを提案し、会津事務局長が資料に沿って議案内容を説明した。また、会津事務局長が、小泉会計監事の代理として「監査報告意見書」を読み上げた。

公文会長が第 1 号議案および第 2 号議案を承認することの可否を諮ったところ、出席者全員の賛成をもって承認された。

第 3 号議案「会則の変更について」

公文会長が会則の変更案の説明を会津事務局長に求め、その後審議を行った。その結果、以下の変更が出席者全員の賛成をもって承認された。

第 6 条 現行「正会員は、毎会計年度ごとに年会費（一口 50 万円、一口以上）を納入しなければならない。」を、「会員は別途細則にて定める年会費を納めるものとする。」に変更する。

同じく第 6 条 4 の「賛助会員の会費は幹事会における審査時に個別に定める。」を削除する。

第 9 条 現行「IGTF に役員として会長 1 名、副会長 3 名以内、代表幹事 1 名、幹事 10 名以上 15 名以内および会計監事 1 名を置く。」を、「IGTF に役員として会長 1 名、副会長 3 名以内、代表幹事 1 名、幹事 5 名以上 15 名以内および会計監事 1 名を置く。」に変更する。

第 13 条 4 現行「事務局は、財団法人ハイパーネットワーク社会研究所内に置く」を「事務局は、千代田区内に置く」に変更する。

附則に以下を追加する。

「5. IGTF の設置期間は、2007 年 3 月末日までとする。ただし、協会の設置を延長する場合は、総会の議決を経て期間を限り延長することができる。」

「6. IGTF 終了の日において残余財産がある場合には、総会の決議によりこの団体の目的に近い公益事業に寄付するものとする。

(2006 年 4 月 1 日 改定・施行)」

会費に関する細則として、以下を追加する。

「2006 年度会費は徴収しないこととする。

(2006 年 4 月 1 日 制定・施行)」

第 4 号議案「役員及び事務局長の選任について」

公文会長が会則第 9 条の規定に従って役員を選任について意見を諮ったところ、丸山氏が会長には引き続き公文氏を推薦する旨の提案を行い、出席者全員の賛成をもって承認された。副会長について、公文会長が新たに丸山氏を推薦するとともに、引き続き立石、村井両氏を推薦する旨の提案を行い、出席者全員の賛成をもって承認された。代表幹事、幹事について会津事務局長より代表幹事には現在の丸山代表幹事の再任を、幹事にはアダム・ピーク氏、ダーシャン・ナドー氏の両名を除く全員の再任を提案し、出席者全員の賛成を

もって承認された。事務局長については、公文会長が JPNIC の成田氏の就任を提案し、出席者全員の賛成をもって承認された。

会計幹事については丸山氏がインターネット協会の小泉氏に代わって同じくインターネット協会の中田修一氏に委嘱することを提案し、出席者全員の賛成をもって承認された。

第 5 号議案「平成 2006 年度事業計画について」

第 6 号議案「平成 2006 年度収支予算について」

公文会長が、第 5 号議案および第 6 号議案は相互に関連があるので、一括して審議することを提案し、成田事務局長が資料に沿って議案内容を説明した。

公文会長が第 5 号議案および第 6 号議案を承認することの可否を諮ったところ、出席者全員の賛成をもって承認された。

5-2：意見交換

この後、参加者によって今後の活動のあり方についての意見交換が行われ、国連のインターネットガバナンスフォーラム(IGF)について、当面の状況を見守ろうとの意見が出て了承された。

以上によりすべての議事が終了したので、議長は議事を終了し、定期総会の閉会を宣言した。

上記を明らかにする為、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人が下記に署名する。

2006年4月26日

インターネットガバナンス・タスクフォース平成 18 年度定期総会

総会議長 公文俊平

署名人 前村昌紀(印)